

令和元年度第1回一宮市立図書館協議会会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和元年9月20日（金）午前10時～正午
- 2 開催場所 中央図書館 7階 講座室
- 3 出席状況 委員9名（欠席1名）、事務局8名
- 4 傍聴者 0人
- 5 議題 (1) 会長・副会長の選出について
(2) 令和元年度当初予算について
(3) 平成30年度の活動状況について
(4) その他
- 6 開会 (事務局が開会を宣言)
図書館長挨拶
協議会委員・事務局職員自己紹介
- 7 会議 (要旨)
 - (事務局) 議題(1)について説明後、互選により会長を選出。副会長は会長の選任にて選出。会長・副会長の挨拶後、会長が議長となり議事進行。
 - (事務局) 議題(2)について資料に基づき説明。
 - (委員) 備品購入費の減額について、一般書と児童書のどちらを減らし対応していく方針ですか。また電子書籍費の削減がなされていない理由をお聞きします。
 - (事務局) 方針は決まっていません。図書館として買わなければいけない本は、一般書でも児童書でもあります。リクエスト本は購入するのではなく、相互貸借で対応していくことも考えています。電子書籍費は昨年度に200万円減額となっています。この減額により昨年度は前年度に比べ1,500点弱から650点ほど購入点数が減っています。29年1月から電子書籍の貸出を開始し2年半ぐらい経ちますが、「るるぶ」が2年ライセンスということで除籍となってきました。この蔵書を確保していくということで必要な予算と考えています。
 - (委員) 備品購入費の減額ですが、4館とも同じ比率で減額となっていますか。
 - (事務局) 同じ比率ではありません。しかしながら貸出点数による配分も検討しなければならないと思っています。
 - (会長) 職員人件費でかなりの金額が下がっているのは、館長が兼任になったからという説明でしたが、詳しくお願いします。
 - (事務局) 3つの次長職を1人が兼務していますので、実質の人件費削減です。
 - (会長) 館長が兼任になりマイナス面はありませんか。
 - (事務局) 全てのイベントに参加できないということがデメリットだと思います。
 - (委員) 委託料は人件費の高騰との説明でしたが、こんなに上がるのでしょうか。
 - (事務局) 3年契約になっており、前は27年度ベースで見ていたものが、30年度ベースで3年間分を計上しますので金額は上がります。中央図書館の運営委託ですが、朝9時から夜9時まで開館し、第1・第3月曜日がお休み、祝日の翌日が休みということで、第3月曜日は図書館のスタッフは全員参加し、研修を行ったり各種作業もしています。スタッフは約60名強います。このスタッフの3年分の増加分を計上しますとこの金額になります。

- (委員) 約1,800万円ぐらいですね。
- (事務局) 全てが人件費ではありません。消耗品・制服代なども含まれます。
- (委員) 銀行でも最近は私服でありますし、市役所でも同様です。スタッフと分かるものを身に付けるだけで良いと考えますが、そういう努力はされているのでしょうか。
- (事務局) スタッフは統一した制服を着て勤務しております。今回、令和元年から3年にかけて制服代を認めていますが、次回更新時にはこの意見を踏まえさせていただきます。変更可能かどうかを確認します。
- (事務局) 加えまして60人体制でのサービス提供ですが、このまま5年・10年・20年となりますと、人件費の高騰が心配です。もう少し合理的に考えてもらい、体制を58、59人にできないかなど、今後なるべく少ない人数でサービスの質を落とさず提供できないかなどを協議していきたいと考えています。
- (会長) 図書館の予算編成で、書籍の減額で合わせるのではなく、書籍は減らさず人件費などで考えていただいて、目に見えるのは本が多いか少ないかですので、そういうことを頭に入れて予算組みをしていただきたいと思います。次に議題(3)平成30年度の活動状況について事務局の説明を求めます。
- (事務局) 図書館年報に基づき説明。
- (委員) 1年で2万冊程増えていますが、中央図書館の開架の空きはどのくらいあるのでしょうか。
- (事務局) 収容能力は60万冊で、30年度末の蔵書点数は59万3千点、空きは7千点ほどです。
- (委員) 今後の除籍の状況について教えてください。
- (事務局) 主にビデオテープから実施しています。
- (委員) ビデオテープの今後の扱いについて教えてください。
- (事務局) ビデオテープ自体は既に購入していません。中央図書館ではビデオデッキはなく、他館で備えている状況です。ご自宅にビデオデッキがあり、借りていかれる方は良いですが、ビデオデッキ付きDVDプレーヤー等の購入は難しいと考えています。また年数が経過したビデオテープは故障の原因にもなりますし、保管場所も取ってしまいます。貸出しがないものから除籍を進めています。
- (委員) DVDで同じ内容のものがあれば、早く処分していただいても良いと思います。ただし郷土資料でビデオテープしかないものは、何とか残してもらいたいと思います。
- (委員) ほたる号の貸出点数ですが、丹陽南小学校では半分以下になっています。この説明をお願いします。
- (事務局) 前年は5,400点ほどを借りていますが、今年は2,200点ほどとなっています。この原因を先生に確認したところ、ほたる号日課を29年度までは実施していましたが、以後はやめ自由にしたということです。その結果減ってしまったということです。
- (委員) 他の学校でのクラス貸出しはどんな状況ですか。
- (委員) 現状ではクラス貸出しは3校で実施しております。クラス貸出しは学校が中規模でも、貸出しにかなりの時間がかかります。事前の詳細な打合せがあれ

ば、ロスは防ぐことができますが、計画的に実施しないと学校行事への参加時間に遅れることもあります。

- (事務局) 小規模校の朝日西小学校では、貸出点数は昨年に比べ増えています。
- (委員) 是非とも貸出点数が増えるように学校側と協議していただきたいと思います。
- (委員) 学校と地域の中に入っていけるのが、ほたる号だと思います。しかし地域の方の中には、ほたる号がここに来ることを知らない方もみえます。町内の回覧でお知らせをしていくことも大事だと思います。
- (会長) 広報のほたる号のページを見ていましたら、滞在時間が45分と1時間がありました。どんな理由からですか。
- (事務局) 午前中に回る所が45分で、午後の所が1時間です。
- (委員) ほたる号のステーションで公民館がありますが、公民館での会議の中で話題にしていただくと、興味を持った方が来ていただけるので、是非お願いしたいと思います。
- (委員) ステーションを大きな病院に増やしてみてもどうかと思います。
- (事務局) 現在ステーションは39か所で、日程的にも時間的にもいっぱいです。
- (委員) 花火の協賛金の様に、ほたる号の協賛金を集め、ほたる号第2号ができれば、一宮の誇りになると思います。
- (委員) 黒田小学校では木曾川図書館へ見学に行きますが、ほたる号は見えていません。経験のない所に来ていただければ、興味をもってもらい利用も増えると思います。
- (委員) 2年生では生活課の「まち探検」の一環で、いずれかの図書館に行っているところがほとんどだと思います。
- (事務局) 3年生は博物館、4年生はプラネタリウムへ行くという事で、学校教育課で予算が組んでありますが、何とか図書館に来ていただけるような方法はないかと相談した事があります。来ていない学校だけを措置することも難しいですし、全ての学校となりますと予算も膨大となります。
- (会長) ほたる号や図書館見学についての意見、提案が出されていますが、事務局側でも検討いただき、次回結果を話していただけるとありがたいです。次に議題(4)その他について事務局にお願いします。
- (事務局) 次回の日程ですが、2月中旬を予定しています。後日連絡します。
- (委員) 年報の対面朗読利用人数ですが、「対面朗読室の視覚障がい者」と「視覚障がい者のための朗読」の違いの説明をお願いします。
- (事務局) 「対面朗読室の視覚障がい者」は、個人の方がボランティアさんに申し込まれ本を読んでいただけるものです。「視覚障がい者のための朗読」とは、5階の会議室で第2・4金曜日にお話しを聞きたい方が集まり、みんなで聴いていただく朗読会です。
- (会長) 対面朗読は6階で行っていますが、部屋が外から見える状態であると入りづらく、利用しづらいので、見えにくくすると利用者がもっと増えるというお話を聞いたことがあります。他にご意見はございませんでしょうか。無いようですので、以上で会議を終わります。